

調査事件(1)

広域環境保全の取組の概要について

平成26年9月13日

関西広域連合 広域環境保全局

広域環境保全の取組の概要について

関西の現状

● 関西の特性

都市と農山漁村、自然が適度に分散し、
それぞれが比較的近接している

**都市と自然の
魅力を同時に享受できる地域**です。

人口は2,029万人(H22国勢調査)で
日本全体の15.8%を占め、

**琵琶湖・淀川流域圏に
約8割が生活**しています。

多様性と厚みを兼ね備えた**歴史・文化が
生物多様性とも深く関連**しています。

太陽電池工場や水処理プラントなどの
環境関連産業が集積しています。

大学・研究機関が集積し、NPOや
**市民団体等による環境保全活動の
先進地**です。



メガソーラー(堺市)



広域環境保全の取組の概要について

■「関西広域環境保全計画(H24.3月策定)」の概要

1 計画の趣旨

関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、目指すべき姿、施策の方向性、取り組むべき施策等を定めた計画であり、この計画を指針として、様々な主体とともに、環境先進地域「関西」を目指す。

2 計画期間

平成24年度から平成28年度（5年間）

3 目指すべき姿

◆将来像1	暮らしも産業も元気な低炭素社会
◆将来像2	生物多様性の恵みを身近に感じる自然共生型社会
◆将来像3	すべてのものを資源と考える循環型社会
◆将来像4	安全・安心で歴史と文化の魅力あるまち
◆将来像5	持続可能な社会を担う人材の宝庫

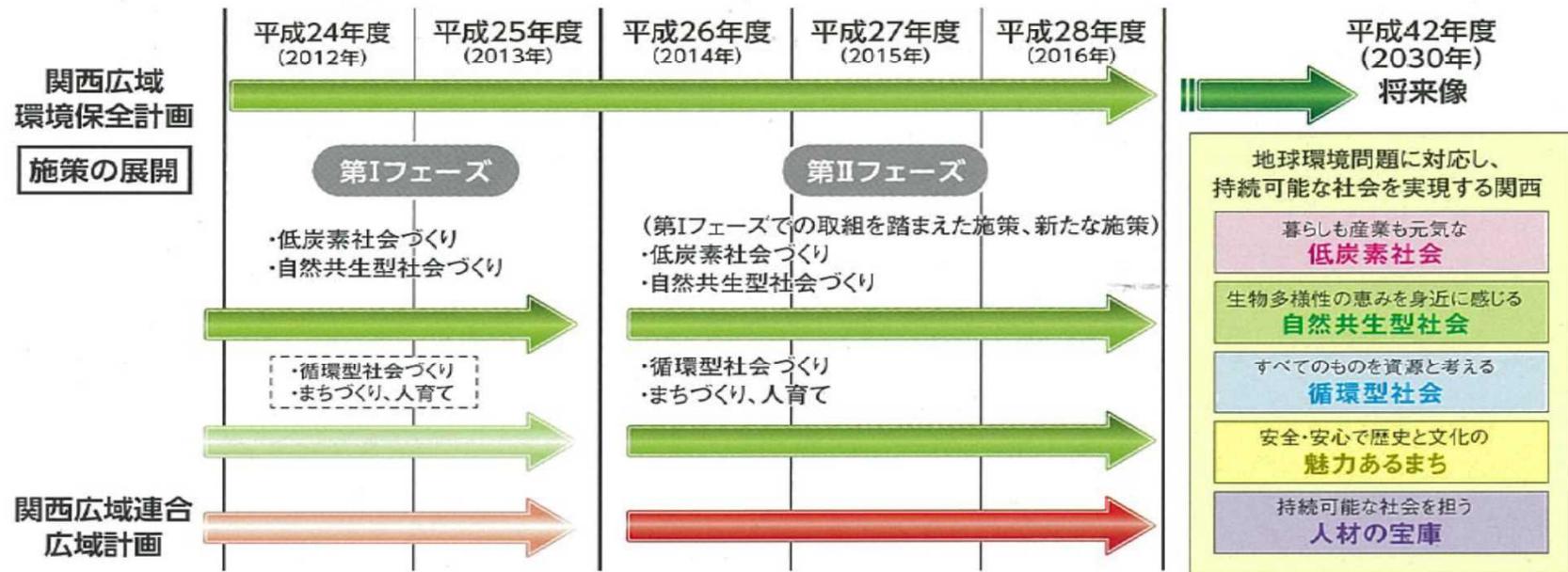
地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西

広域環境保全の取組の概要について

関西広域連合で取り組むべき施策の視点

- 視点1** 関西広域連合で取り組むことによりスケールメリットを活かす
- 視点2** 関西広域連合で方向性を示すことにより、構成府県市が実情を踏まえ統一的な取組を展開する
- 視点3** 構成府県市の優良事例を、関西広域連合全体に波及させる

計画期間と施策の展開



広域環境保全の取組の概要について

■ 広域環境保全計画

第Ⅰフェーズ (H24年度～H25年度)

1 「関西広域環境保全計画」の策定

2 温室効果ガス削減のための広域取組

[温暖化対策課]

- ・住民・事業者に対する広域的啓発
- ・関西スタイルのエコポイント事業
- ・クレジットの広域活用の調査検討
- ・電気自動車の普及促進

3 府県を越えた鳥獣保護管理の取組

[自然環境保全課]

- ・カワウのモニタリング調査実施
- ・被害防除に関する事例調査研究
- ・カワウ広域保護管理計画策定

第Ⅱフェーズ (H26年度～H28年度)

1 「関西広域環境保全計画」の推進

2 再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会づくりの推進

[温暖化対策課]

- ・再生可能エネルギーの導入促進 新
- ・低炭素化・省エネルギー化の啓発
- ・関西スタイルのエコポイント事業
- ・カーボン・クレジット広域活用
- ・電気自動車の普及促進

3 自然共生型社会づくりの推進

[自然環境保全課]

- ・カワウの保護管理
 - ・広域的なモニタリング調査、モデル的な被害対策
- ・ニホンジカ等の広域的な鳥獣対策の推進
- ・生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上 新

4 循環型社会づくりの推進 新 [循環社会推進課]

- ・3R等の統一取組の展開

5 環境人材育成の推進 新

[環境政策課]

- ・交流型環境学習の推進
- ・幼児期環境学習の推進
- ・環境まちづくり事例の発信・交流